

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
91	拓殖大学	通訳英語Ⅱ	河原 清志 外国語学部 教授	2	後期	水	13	9:20～11:05	拓殖大学 八王子国際キャンパス	5

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な通訳訓練を通して通訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による通訳者の役割（ある程度の実務レベルの逐次通訳・同時通訳）を果たすことができるだけのスキル習得が到達目標です。

【授業内容】

1. 授業概要
通訳課題①(1)を使って、本授業が扱う通訳訓練法を体験します。 *以下、通訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。
2. 通訳訓練法と英語力強化の学習法
通訳課題①(2)を使って、通訳訓練法による英語力強化法を学びます。
3. 同時通訳の初歩的な体験
通訳課題①(3)を使って、同時通訳を体験します。
4. 順送り訳と基本的な同時通訳スキル
通訳課題②(1)を使って、順送り訳と同時通訳文法を学びます。
5. 短文を使った初級同時通訳演習
通訳課題②(2)を使って、短文の同時通訳のコツをつかみます。
6. サイトトランスレーション①
通訳課題③を使って、簡単なサイトトランスレーションを行います。
7. サイトトランスレーション②
通訳課題④を使って、実務的なサイトトランスレーションを行います。
8. 同時通訳演習（短くゆっくりな音源）
通訳課題⑤(1)を使って、同通文法を学びます。
9. 同時通訳演習（短く少し速い音源）
通訳課題⑤(2)を使って、同通文法をさらに学びます。
10. 同時通訳演習（少し長めの音源）
通訳課題⑥(1)を使って、同通文法の自動化を図ります。
11. ノートテーキング①
通訳課題⑦(1)を使って、ノートテーキングを体験します。
12. ノートテーキング②
通訳課題⑦(2)を使って、ノートテーキングと言語処理のあり方を学びます。
13. 逐次通訳演習／逐次通訳演習／確認テストとフィードバック
今学期の音源の通訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

※拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

【授業の方法】

- ① 1分間の英語ニュース番組のビデオクリップを使って、シャドーイングとサイトトランスレーションに取り組みます。
- ② 各回の学習テーマを学びます。
- ③ 個人／ペアで練習し、前回と今回の音声を録音して提出します。

【予習・復習】

予習、復習ともに重視します。毎回学習した音源を自宅で何度も繰り返して練習し、次の回でパフォーマンスを発表します。

【成績評価方法】

授業での取り組み（25%）、提出物（25%）、期末確認テスト（50%）

※原則として全体の1/3またはこれを超える未提出物がある場合は、その理由にかかわらず単位認定の対象になりません。

【参考書、教材等】

時事問題を数多く扱いますので、授業内で配布、指示します。

※ この授業は、9/27（水）が初回です。